ボーリング柱状図

調　　査　　名　一般県道川北七塚線調査設計業務委託（交付金）

事 業 ・ 工 事 名

ボーリングNo.	5	2	3	2	2	7	6	7	0	0	2

シートNo.　2

ボーリング名	BV-1	調査位置	庄原市濁川町川西		北緯	34° 53’ 13.4651″
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所	調査期間	平成28年12月22日～平成28年12月23日		東経	132° 57’ 55.8613″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 232.20m	角度	上 180° 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配 水平 0° 鉛直 90°
総掘進長	5.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D1－B	ハンマー落下用具	半自動型
			エンジン	ヤンマーNFD１３	ポンプ	東邦地下工機BG3-C

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	粒度試験による土質区分	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量	N値 0 10 20 30 40 50 60	原位置試験 深度 m	試験名及び結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1	230.50	1.70	1.70		礫混じり粘土質砂	黒褐	緩い		砂分優勢で粘土分を混入する。 φ20～40mm程度の角礫を混入する。		12/23 無し	1.15	2	3	3	8/30	8			1.15	P-1	⊖		12/22
2												1.45								1.45				
3												2.00	貫入不能			50/0	50以上			2.00	P-2	⊖		
4												3.00	貫入不能			50/0	50以上			3.00	P-3	⊖		
5	227.20	3.30	5.00		流紋岩	暗青灰			流紋岩 概ね柱状コアとして採取される。 最大コア長40cmでRQDは、20～60% 岩質は硬質である。 割れ目は、水平性と高角度のものがある。 深度3.35～3.5mは、礫状に風化する。 深度3.7～3.75mは、礫混じり粘土状に強風化する。 深度4.35～4.6mは、高角度の割れ目があり、褐色に酸化している。			4.00	貫入不能			50/0	50以上			4.00	P-4	⊖		
6												5.00	貫入不能			50/0	50以上			5.00	P-5	⊖		12/23
7																								
8																								
9																								
10																								